

2018 J I A トーク 「プロセス」

コーディネーター：神澤宣次

※この課題は、設計プロセスを通して意識の根底にあるもっともプリミティブ（原始的）な何かを探ろうとしています。
そしてそれが各設計者の無意識の「ここだけは譲れない原体験」から来ている事をあぶり出したいと思っています。
整合性あるきれいな図面としてまとめる必要はないので、どの様に考えたか？を真正直に発表頂けると良いと思います。

□設計課題 （仮称）ヤマモト家新築工事

下記内容の住宅依頼を受け、質疑なしで1案提出することになりました。
いつものやり方で、出来るだけ深く読み解き、多少デフォルメしてでも自分の作品を造ってみて下さい。
発表自体はシンプルに大きな方向性や全体のイメージ（言葉や記号、スケッチ程度）で結構ですが、
考えは遠慮せずにどんどん深めて行って下さい。
何をどう考えたのか？ 順を追って整理してみてください。

敷地：妻側父の所有する景観の良い細長敷地

斜面地で畑も点在する市街化区域 東傾斜斜面で市街地が見渡せる景色の良い立地

建物：～3000万円（税別 自己資金500万円 他は借入）不足分は両親が援助してくれる・・・かも

施主ご家族のプロフィール：

施主（ヤマモト家）	職業	趣味、特技	車	好きな言葉、人
夫（タロウ 33才）	公務員（市役所）	山歩き、キャンプ、読書	レガシーアウトバック	羽生善治
妻（レイカ 35才）	ヘアサロンスタッフ	ショッピング、ファッション	レクサスNX300（白）	ミランダ・カー
長男（マリン 5才）	保育園（来年小学生）	電車あそび、サッカー	三輪車	ケイスケ・ホンダ

希望：

こどもは計2人ほしい

景色を活かしたい

近所からあまり見られたくない。

共働きなので合理的な動線

将来どちらかの親をひきとり面倒見る・・・かも？

木造、丈夫な家、収納の多い、温かい家、家庭菜園＋バーベキュー（タロウ）

スタイリッシュ、人がよべる家、何か特徴のある自慢できる「白い」家（レイカ）

将来サッカー選手になりたい。練習場所がほしい（マリン）

家相は気にする方（タロウ）